



コロナ禍の大学受験

～夢に向かう卒業生や先輩保護者に探る～



正面玄関ステンドグラス

長野県諏訪二葉高等学校 PTA 教養厚生委員会

2021 年度版

はじめに...

今年度教養厚生委員会では、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、受験を迎えた令和２年度卒業生及び卒業生保護者の皆さんにスポットを当ててみました。

夢に向かっていくわが子に親はどんなサポートを？コロナ禍で受験期を過ごした高校生活や新生活は？... と気になることをまとめました。

回答をお寄せいただいた令和２年度卒業生８１名、卒業生保護者４８名の方々のご協力のおかげで本誌が作成できましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

まだまだ先が見えない状況ですが、親子で手に取り話題にしながら進路実現に向けての一助となれば幸いです。

令和３年１０月

教養厚生委員会委員長 武居 寛子

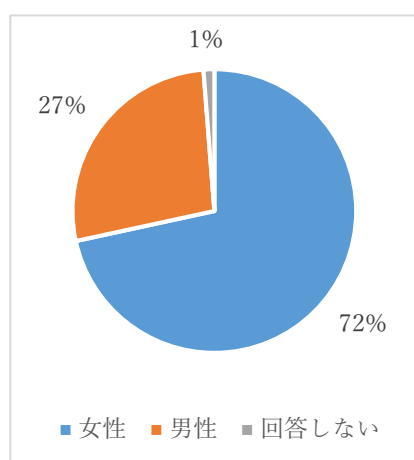
教養厚生委員会副委員長 松澤 かおり

教養厚生委員会 委員一同

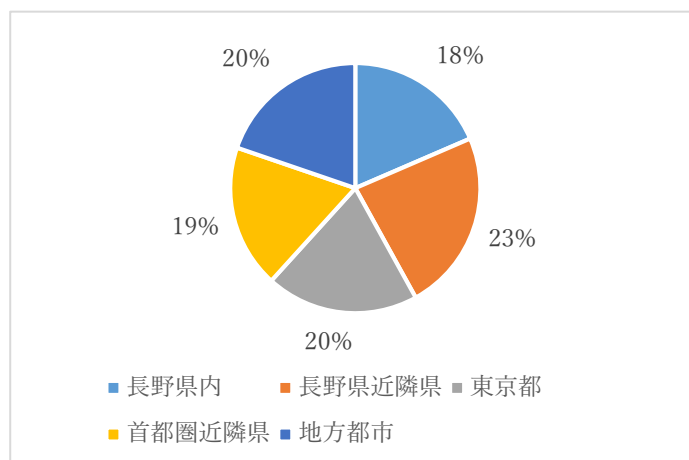
教養厚生委員会担当 永田 恵子

令和２年度卒業生へのアンケート（回答数８１人）

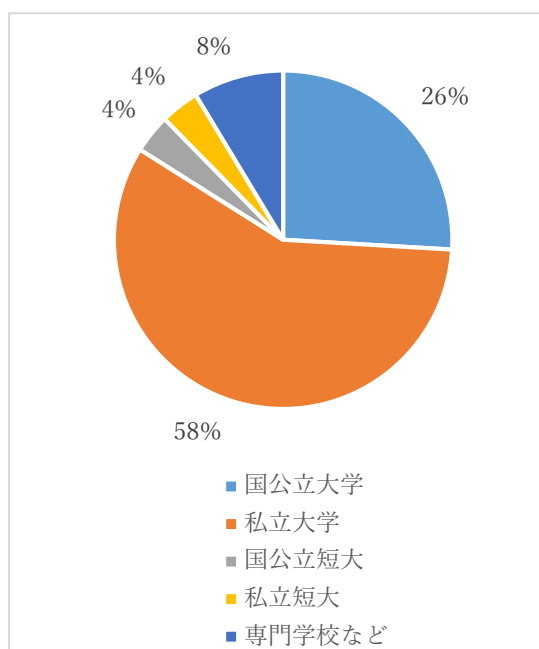
Q1) 性別を教えてください



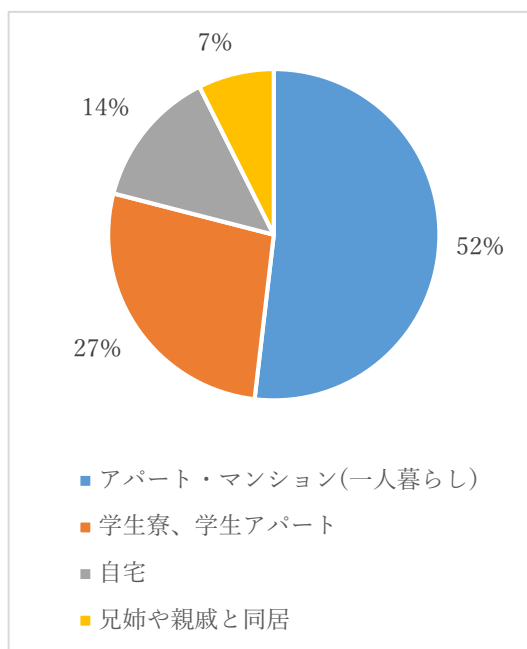
Q2) 通っている大学等は、どの地域ですか？



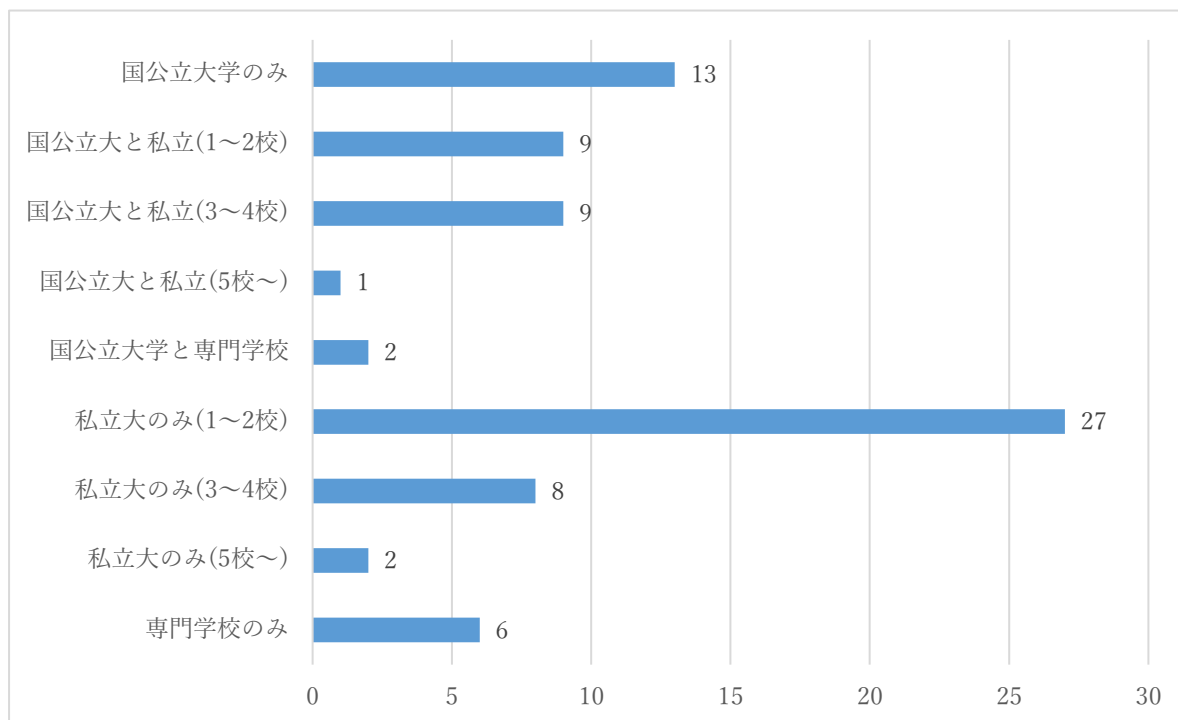
Q3) 進学先の大学等の種類は何ですか？



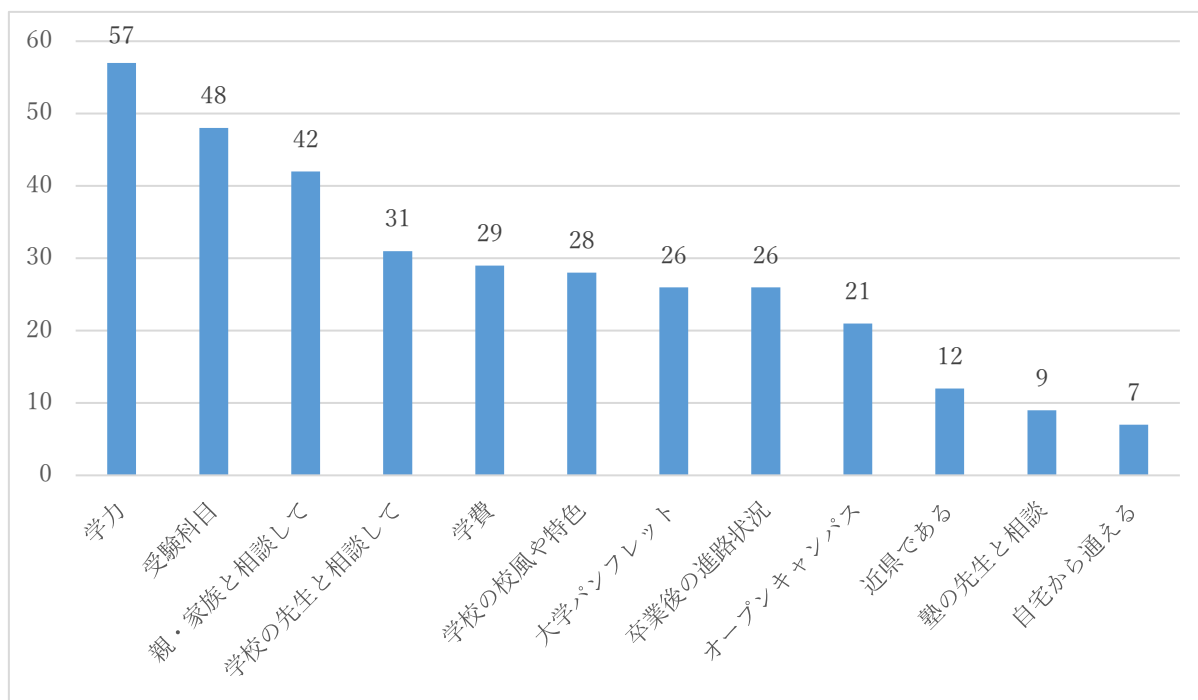
Q4) お住まいは、次のどれにあたりますか？



Q5) 何校受験しましたか？



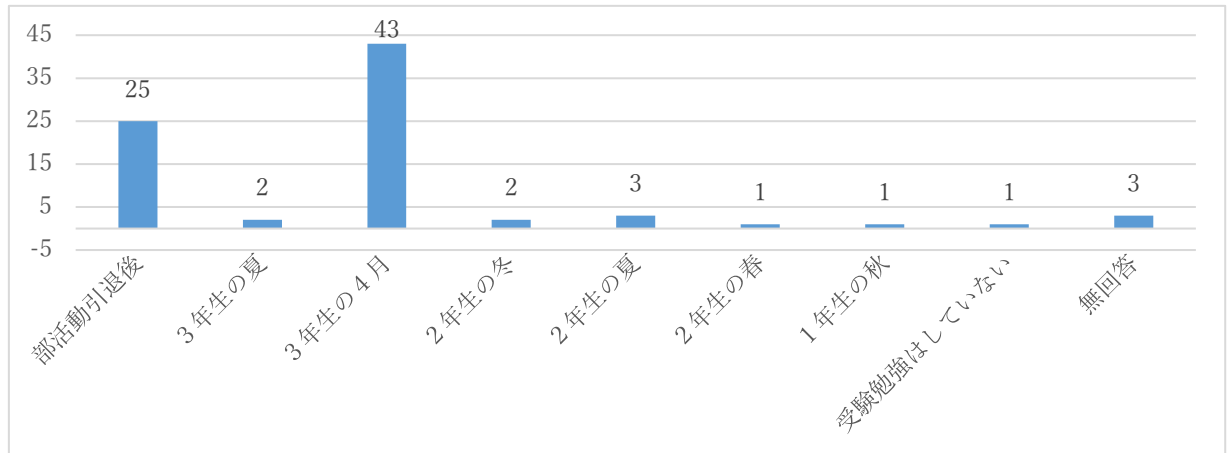
Q6) 受験校はどうやって決めましたか(複数回答)



Q7) 受験校選択や受験にコロナ禍の影響があったと思われることは何ですか？

- ・オープンキャンパスに行けない
- ・大学の選択肢が減った
- ・面接がなくなった
- ・受験方式の変更
- ・私立大の会場へ行きたくなくて共通テスト利用へ変更した
- ・学校の情報収集が出来なかった
- ・コロナ後の事(就職)まで考えて志望校を決められた
- ・日程変更があり試験が増えた
- ・都市部進学を反対された
- ・県外受験から戻る事の不安(コロナ感染の不安)

Q8) 受験勉強を始めたのは、いつ頃からですか？



Q9) 受験生当時、親からされて嬉しかったこと、嫌だったことはありますか？

【嬉しかったこと】

- ・励まし、アドバイスが嬉しかった
- ・考え希望を尊重してくれたことが良かった
- ・車の送り迎え
- ・きちんと相談に乗ってくれること
- ・一番味方になってくれたこと
- ・塾に通わせてもらった
- ・進学校だから大学に行かなきゃという固定概念に囚われ悩んでどうしようもなかった時に、専門学生という選択肢を進めてくれたことが嬉しかった
- ・成績を見せてと言われなかったこと
- ・受験を申し込むときにお金のことを気にしなくても良いと言ってくれたこと
- ・受験した時に何日間も仕事を休んで一緒にいてくれたことなど沢山感謝している
- ・大丈夫だよという言葉が一番安心できた
- ・干渉しすぎず、普段と変わらず接してくれた
- ・受験以外でサポートしてくれたこと
- ・気分転換にドライブ、好きな食べ物を用意してくれた

【嫌だったこと】

- ・「ちゃんと勉強してる？」と聞かれるのが嫌だった
- ・勉強してないのか？勉強しろと言われた
- ・夫婦喧嘩
- ・勉強中に大音量でTVを見ていたこと

Q10) 進学後から現在までの学校生活の様子を教えてください

- ・サークル活動はできない（感染レベルによっては可）
- ・オンライン授業がメイン
- ・毎日対面授業
- ・感染状況により対面、オンライン授業の切り替え（対面、オンラインの比率も変動）
- ・実技系の授業は対面
- ・インカレは活動している
- ・構内滞在可能時間は短い
- ・バイトはできない
- ・分散型の対面授業
- ・4～7月は3週間程度の通学だった
- ・対面、オンライン 同時配信兼用授業

Q11) 進学後から現在まで困ったことや、困っていることはありますか？

- ・特にない
- ・アルバイトが見つからない
- ・シフトが減った
- ・医療系のためバイト禁止
- ・サークルができない
- ・リモートが多いので人と接する機会が少なく孤独を感じたり、友達が作りづらい
- ・オンライン授業、オンデマンド授業だと分からないところをすぐに聞けない
- ・帰省や外に遊びに行けない、行きづらい、リフレッシュする機会がない
- ・Zoom 授業と対面授業がごちゃ混ぜになっていて、どこで受けるかわからなくなり、スケジュール管理が大変
- ・一人暮らしが苦痛（自炊、家事が面倒くさい、健康的な食事がとれない、ホームシック）
- ・一人暮らしがうまくいかない（お金のやりくり、部屋がすぐ汚くなる、生活リズムが乱れる）
- ・長野との環境の違い（気候、人が多く疲れる）

Q12) 高校生活や受験全体を通しての失敗談、成功談、後輩へのアドバイスなどあれば教えてください。

【失敗談】

- ・受験勉強に本腰を入れ始めたのが遅かったので、もっと早くから始めればよかったと後悔
- ・理系・文系に絞りすぎて勉強していた、英語の文法をもっと勉強すべきだった
- ・受験は教科数が多かったため、計画通りになかなかできなかった
- ・志望校を決めるのが遅かったため、受験に使わない教科を勉強をしていたため、もっと上の大学を目指せたと思う
- ・志望校は安易に落とすべきではないです、やる気が急に起こらなくなります
- ・自分の実力を過信しないで、早い段階から地道に学力をつけることが大切だと受験に失敗してわかった

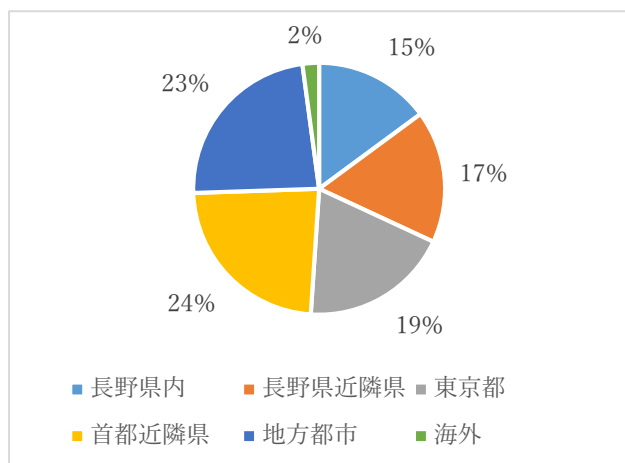
【成功談、アドバイス】

- ・受験勉強は早ければ早いほどいい
- ・部活は最後までやった方が受験勉強に切り替えができる
- ・早め早めに志望校を考え、1年生のうちから予習と復習をする習慣をつけることが大事
- ・1. 2年生の時はひたすら授業を大切にする
- ・本当に行きたい大学は2年生のうちにきめておくべき
- ・まだ志望校が決まっても、行きたい学校が見つかった時、そこに行けるだけの学力を身につけてある方が良い
- ・3年生の間は気を引き締めてがんばるべき
- ・時には息抜きも大切
- ・友達と勉強を教えあった。それが息抜きになった
- ・一人での勉強も大切だけど、友達と一緒に勉強した方がやる気も出るし、励ましあえていい
- ・自分はどの科目が受験に必要なかを明確にして、志望校の過去問をある程度見て問題の傾向を頭に入れておいた方が絶対に受験勉強がしやすい
- ・私がやって良かったと思うことは1冊の参考書や問題集をとにかく完璧にすることと、間違えた問題をノートに集めて定期的に解くこと、ある程度一冊解くことを繰り返していくことで、できなかった問題ができるようになっていたり、苦手分野がはっきりしてくる。書き出すことで次に似たような問題が出た時に発見しやすくなる（定期的に解く）ことが重要である

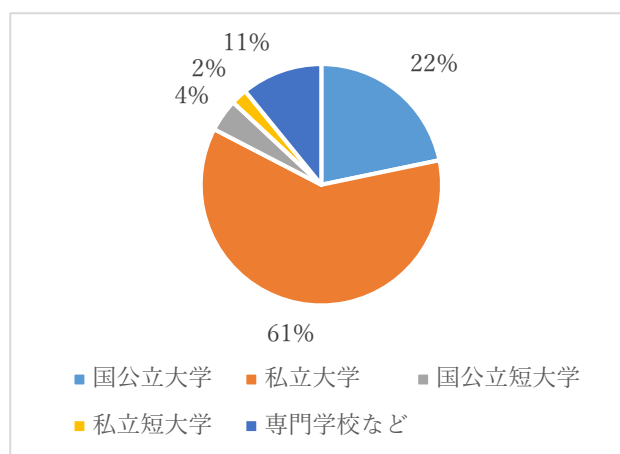
- ・私は数学が得意になってきたときに、一旦、数学を放置してしまいました。そうしたら最後の追い込み期間で、できなくなっていました。少しでも他の教科も手はつけておくようにすると思います。やらなかった教科の感覚が鈍ってしまいます
 - ・指定校推薦については、評定が4ぐらいかつ日東駒専レベルの大学に行きたいんだったら指定校を上手く使った方が良いと思います。指定校を上手く使って受験するのであれば、8月の時点で志望校が確実に決まっていれば良いので、特に私大志望の人は早めに志望校決めた方がいいです！
 - ・受験する大学は併願校も含めてしっかり確定して調べておかないと、受験間近で焦ると思うので、先生方と親としっかり話し合った方がいいです。コミュニケーションが大事です
 - ・高校生活を全力で楽しむこと。勉強も遊びも全力で！
 - ・受験をうけるチャンスがあるならどんどん受けて慣れたほうがいい(推薦、AO、一般)。偏差値とか自分の能力で行く大学を決めるより、自分のやりたいことできめたほうがいい。私は共通テストでは半分しかとれなかった
- 大学の2次は実技で、実技のウエイトのほうが高かった。実技も自信がなく、もう落ちてもいいかなって思ったけど、塾の先生にこのままじゃだめだと言われたことや、自分と同じ大学を目指している子が頑張っているのを見てくやしくてやけくそになって2次まで毎日塾に通って合格した
- 望みが薄くてもやって後悔することはないし、自分の能力がたりてなくても直前まで、時間がある限り合格に近づけるのだと思った。相当きついことだけど自分が本当に行きたいと思っていればできる
- ・私立大学を受験しようと考えている方はとにかく英語が重要です
 - ・私立の一般で受けるなら共通テストより赤本優先
 - ・医療系は高校生物をしっかり覚えておく結構使える
 - ・第2志望以降の大学をあまり考えておらず、直前で急いで決めることになってしまったので、第1志望を考えつつ、第2志望以降もしっかりと考えるべきだと思う
 - ・コロナ禍では難しいかもしれないが、気になる大学はオープンキャンパスに行ってみると、雰囲気などが分かって良いと思う
 - ・受験の情報はとても大事だから自分で調べたり先輩に聞いたりして得ていくといい
 - ・学校に行くと人とコミュニケーションを取り、授業、補習をしっかり受ける。困ったら先生（担任以外でも）に気兼ねなく相談

保護者へのアンケート（回答数48人）

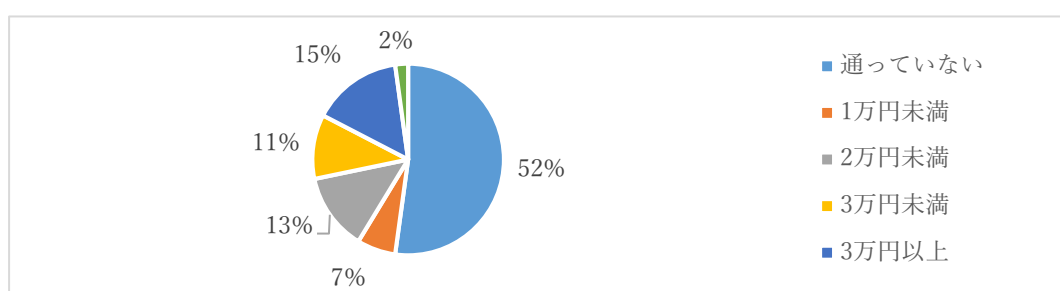
Q1) お子さんの通っている大学等は、
どの地域ですか？



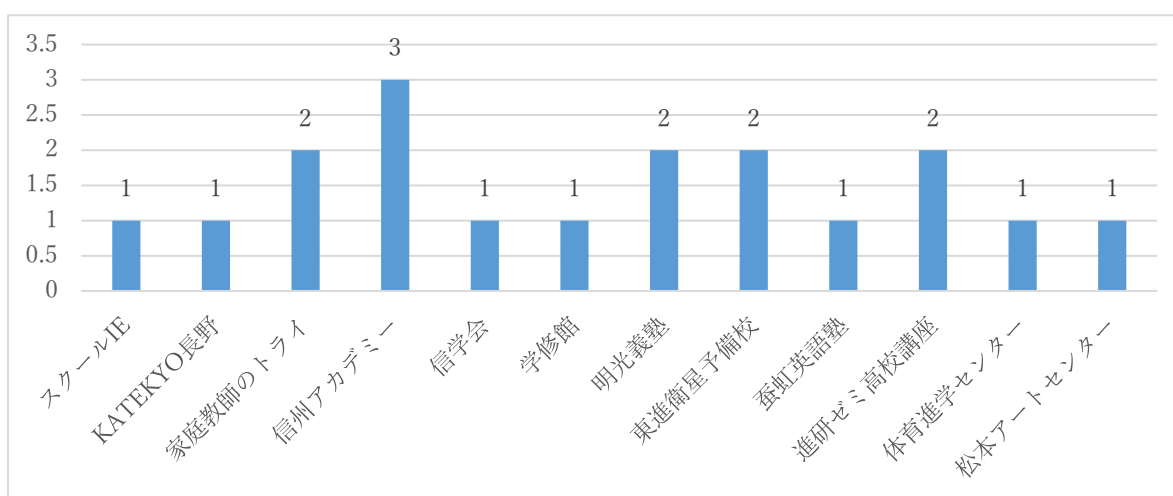
Q2) お子さんの進学先の大学等の種類は
何ですか？



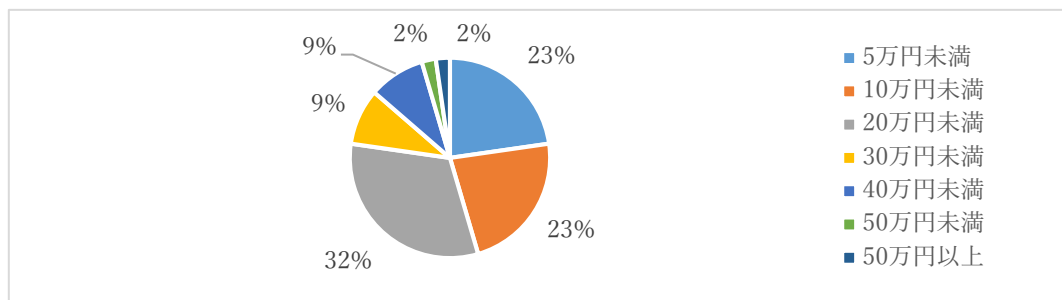
Q3) 塾(通信教育・家庭教師含む)に通っていましたか？月謝はおいくらでしたか？



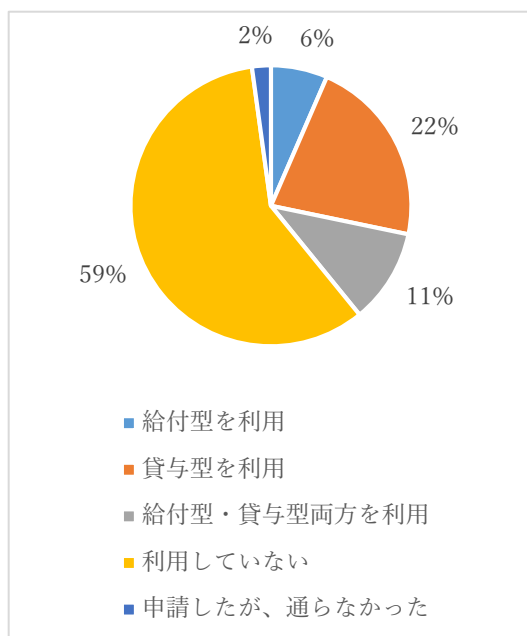
Q4) 塾名(通信教育・家庭教師含む)を教えてください。



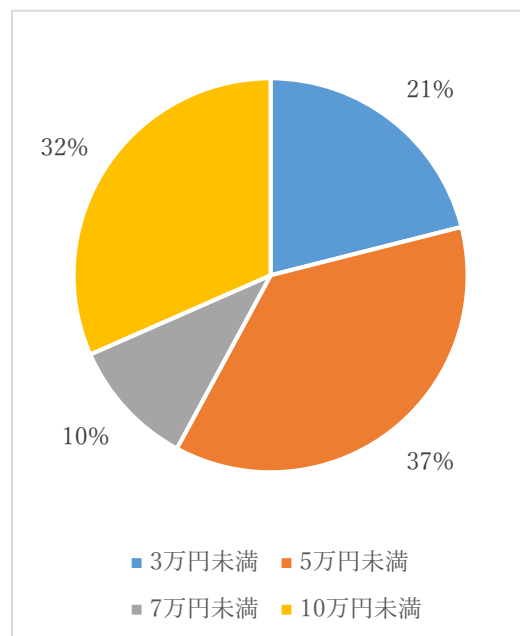
Q5) 受験にかかった費用はどのくらいですか？(受験料、交通費、宿泊代含めて)



Q6) 奨学金は利用していますか？



Q7) 奨学金は月どのくらい利用していますか？
(給付・貸与合わせて)



Q8) 受験生を持つ親として何か気を付けたことはありましたか？

- ・ 体調管理、感染症対策
- ・ 本人の意思を尊重する、口出ししない
- ・ 精神面の安定
- ・ オープンキャンパスへの参加
- ・ 悔いの無いように、受験数は決めなかった
- ・ 家の中がうるさくならないようにした
- ・ 大学受験科目など、一緒に考えることができたようにした
- ・ 普段通り
- ・ プレッシャーをかけない
- ・ 学費の貯蓄

Q9) コロナ禍を含めて、お子さんの受験全体を通して困ったこと、失敗談、成功談などありましたら、教えてください。

【学校見学について】

- ・学校見学に行きたかったが、コロナで受験日まで行けなかった。
- ・オープンキャンパスへの参加が難しくなって残念だった。
- ・1年生の頃からオープンキャンパスに行きました。この点は良かったが、最終的に受験した大学や入学した大学は見に行けていない所ばかりでした。幅広く見学しておけば良かった。
- ・コロナ禍のため、大学の見学の機会が無く、志望校を決めるのに困った。ネットへの書き込みは真実が見えにくく、実際の生徒の話を聞いたり雰囲気を感じて決めたかった。
- ・感染の心配からオープンキャンパス等で直接大学を見たり、体験することができなかった。
- ・オープンキャンパスの参加は、日程や高校の部活、学校行事との兼ね合いもあり、たくさん参加する事は簡単ではないと思う。オープンキャンパスではなくても、大学や周辺の生活圏を確認する事も大切。
- ・仕事柄、県外に行けない状態だったので、毎回父親がついて行った。

【受験校選び】

- ・コロナ禍であったため、首都圏の受験はなるべく避け、地方受験をした。理想や目標は大切だが、ギリギリになって慌てないように、レベルや地域を幅広く考えた学校選びをし、見学しておけば良かった。
- ・できるだけ県内で受験できる方法を考えた。
- ・日々コロナの感染者が増える中、手堅く合格を狙える大学を選んだが、もう少し上の大学に挑戦しても良かったと思う。
- ・理数系なのに文系を受験して20万円使って落ちた。3月に理数系を受けて受かりましたが、適性が見極めが肝心だと感じた。
- ・後期で合格したので本人の意思で最後まであきらめず希望校を受験した。
- ・東京に何度も行きたくなかったため、受かる人数をよく見ないで応募してしまった。
- ・第一志望の大学の、様々な入試方法を順次受けて合格を手にできた。

【受験勉強】

- ・部活が中途半端に終わったため、受験勉強への切り替えがうまくできなかった。
- ・放課後の勉強場所がコロナの為に少なくなり困った。
- ・担任の先生がとても熱心に指導して下さったので、早々に受験を勝ち取ることができた。合格できたのは先生のおかげだと感謝している。

【受験当日の対策】

- ・宿泊先は、受験校が確定する前に、秋ごろ予約をした。
- ・受験時の交通手段の確保に翻弄した。
- ・コロナ禍の影響で、試験会場へ行くのではなく書類審査に変更となり、感染者の多い地域へ行く心配がなくなったため、安心したことも事実

【受験後、新生活への準備】

- ・指定校推薦で早く決まったため、住居決め、生活準備などの時間に余裕ができた。
- ・指定校推薦だったので、親は安心だった。受験料もかからず有難かった。
- ・本命大学の合格発表が一番遅かったため、なかなか住まいを決められず、決定してからが忙しかった。住居選びも数少ないところからの選択となってしまった。
- ・電化製品を諏訪で購入して配達先を東京のアパートにしてもらったので、引っ越し荷物に大きな物がなく、自家用車で済ますことができた。
- ・アパート探しが早すぎて、内見ができなかった。
- ・コロナ禍の引っ越しはとにかく大変だった。
- ・アパート探しに行けなかったのだが、大学の生協でアパート紹介を動画でアップしてくれたので、その中から選んだ。食券を1年分一括購入したが、授業の合間に一旦帰宅してお昼を食べているようだ。
- ・進学した大学ではパソコンなどの購入に補助が出たので助かった。
- ・リモート授業用のパソコン、タブレットどちらも学校からの貸し出しがあり買わずに済んだ。
- ・部屋にWi-Fiを入れたり、パソコンだけでなくiPadも購入した。

最後に...

二葉卒業生親子によるアドバイスは参考になりましたか？

コロナ禍は日常をすっかり変えてしまいました。しかし先輩たちの中にはコロナ禍で変化した状況を前向きに捉えて受験に臨んだ方もいたようです。

身近な先輩の生の声によるこの本誌によって進路のヒントへの導きとなったなら幸いです。

本紙作成にご尽力いただきました皆様、ありがとうございました。